

資料1-1

# 本庄市水道事業ビジョンにおける施策への取組実績及び状況（令和3年度）

施策1 水質管理のさらなる強化（安全）

<本庄市水道事業ビジョンP38、P39>

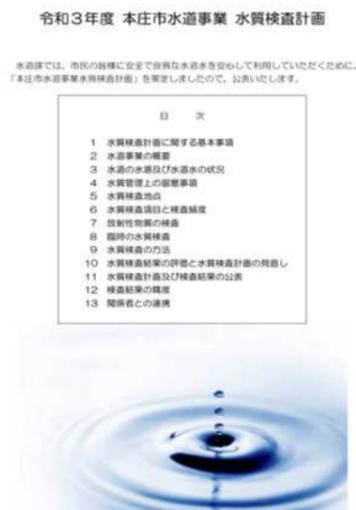
表1 施策1（安全）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
1-1 水質検査の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質検査計画の継続的な実施</li> <li>水質自動計測装置の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度本庄市水道事業水質検査計画に基づき、指定した水質検査地点の検査をすべて実施し、異常が無いことを確認しました。</li> </ul>
1-2 水安全計画の策定と運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定と計画運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庄市水安全計画に基づく水安全委員会を開催し危害分析や水質自動計測装置の設置などの方針を策定しました。</li> </ul>
1-3 貯水槽水道の衛生管理向上に向けた啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置者に対して年3回程度の啓発活動を継続的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年6月に「広報ほんじょう6月1日号」にて設置者への啓発記事を掲載するとともに、市ホームページにおいても適正な衛生管理を促すための広報を行いました。</li> </ul>

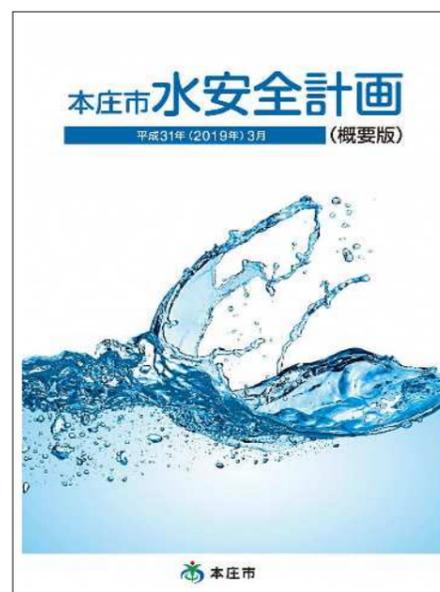
表2 施策1（安全）における成果指標

指標項目	H28実績	R元実績	R2実績	R3実績	目標値	
	2016	2019	2020	2021	2023	2029
水質自動計測装置の設置数（箇所）	3	3	3	3	4	5
平均残留塩素濃度（mg/l） 残留塩素濃度合計※/残留塩素測定回数	0.48	0.42	0.39	0.38	0.40以下を目指す	
水質基準不適合率（%） （水質基準不適合率/全検査回数）×100	0	0	0	0	0%を維持	

※残留塩素濃度測定は、365日市内7箇所で行っています。（本庄地域3箇所、児玉地域4箇所）



【水質検査計画】



【水安全計画】



【広報紙「水だより令和3年・第6号、第7号」】



**施策2 水道施設の計画的耐震化と更新（強靱）**

<本庄市水道事業ビジョンP40、P41>

表3 施策2（強靱）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
2-1 浄水施設の計画的耐震化と更新	計画目標年度までに、下記の施設の耐震化工事に着手 <ul style="list-style-type: none"> <li>第二浄水場耐震化工事</li> <li>児玉浄水場耐震化工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二浄水場耐震補強及び場内配管耐震化詳細設計業務委託を発注し、耐震工法の選定や工程などの計画を策定し、工事発注に必要な図面などを作成しました。（令和2年度からの繰越事業）</li> </ul>
2-2 管路の計画的耐震化と更新	計画目標年度までに更新延長を下記水準に改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹管路（φ400mm以上）：0.4km/年</li> <li>基幹管路（φ350mm以下）、重要管路：1.3km/年</li> <li>配水支管φ150mm～φ350mm：0.7km/年</li> <li>配水支管φ100mm以下：2.1km/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の管路更新については、配水支管（φ150mm～φ350mm）約0.5km、また、配水支管（φ100mm以下）約1.2km更新しました。</li> </ul>

表4 施策2（強靱）における成果指標

指標項目	H28実績	R元実績	R2実績	R3実績	目標値	
	2016	2019	2020	2021	2023	2029
浄水施設の耐震化率（%） <small>（耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力）×100</small>	0	0	0	0	4.1	27.4
配水池の耐震化率（%） <small>（耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量）×100</small>	21.9	21.9	21.9	21.9	32.4	46.8
基幹管路の耐震適合率（%） <small>（基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長）×100</small>	34.7	37.2	37.2	37.2	46.5	60.0
管路の事故割合（件/100km） <small>管路の事故件数/（管路延長/100）</small>	0	0	0	0	0	0



【上水道配水管布設替工事】

**施策3 危機管理体制の強化（強靱）**

<本庄市水道事業ビジョンP42、P43>

表5 施策3（強靱）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
3-1 危機管理マニュアルの改訂	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルの改訂と運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道施設の故障による停電や自然災害、水質汚染事故などが発生した場合の初動から応急対応までの行動を定めた各種マニュアルの策定を行いました。</li> </ul>
3-2 応急対策の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備、拡充の取組みを実施</li> <li>民間企業との協力協定の締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における給水体制の確保を目的に、応急給水資機材として給水袋を1600袋購入しました。</li> <li>建物火災対策として、防災部局と連携し、消火栓を2基新設するとともに老朽化した消火栓28基の交換を行いました。</li> </ul>
3-3 他事業者との相互応援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互応援体制強化への取組みを実施</li> <li>災害時連絡管に係る検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県企業局と連携し、行田浄水場の施設が故障した際の危機対応訓練を実施しました。</li> <li>埼玉県企業局が主催した応急給水装置設置訓練に参加しました。</li> <li>災害時における被災事業者との迅速な応援要請などの情報共有を目的とした、日本水道協会関東支部主催による情報伝達訓練に参加しました。</li> </ul>

表6 施策3（強靱）における成果指標

指標項目	H28実績	R元実績	R2実績	R3実績	目標値	
	2016	2019	2020	2021	2023	2029
飲料水袋備蓄達成率（%） <small>（備蓄数/飲料水袋目標備蓄数）×100</small>	16.7	21.7	41.7	63.1	58.3	100

※飲料水袋目標備蓄数は6,000袋

施策4 既存施設の適切な運用と長寿命化（持続）

<本庄市水道事業ビジョンP44、P45>

表7 施策4（持続）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
4-1 井戸の定期調査と長寿命化の実施	・ 調査、試験及び工事の実施	・ 令和3年度は該当する取組みはありませんでした。
4-2 機械・電気設備の保全	・ 計画的な保守、更新等の実施	・ 浄水場や配水場において配水ポンプや電気設備等の点検を行い、不具合や故障箇所の修繕を行いました。 ・ 第二浄水場の監視装置及び無停電電源設備が老朽化したことから、更新工事を実施しました。
4-3 漏水率の改善	・ 漏水調査、補修の継続	・ 令和3年度の漏水件数は、配水管27件、給水管176件、修繕を行いました。 ・ 漏水調査については、本庄地域では、配水管の消火栓に音聴機械を設置し調査する方法に変更して、ほぼ全域を対象として行っており、児玉地域では、塩化ビニール管の漏水が多いことから従来方式の路線ごとの路面音聴方式で実施し、発見した漏水は18件あり、速やかに修繕を行いました。

表8 施策4（持続）における成果指標

指標項目	H28実績 2016	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	目標値	
					2023	2029
井戸の定期調査・長寿命化工事の実施数（箇所）	1	1	1	1	2	3
漏水率（%） （年間漏水量／年間配水量）×100	8.9	10.2	10.8	11.5	7.9	6.9



【配水管漏水の復旧工事】

【給配水管漏水調査業務委託】

施策5 持続可能な経営の推進（持続）

<本庄市水道事業ビジョンP46、P47>

表9 施策5（持続）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
5-1 健全な経営の維持	・ 業務効率化の推進、業務委託の検証 ・ 広域化の推進 ・ 財政収支見通しの策定と適切な料金水準の検討	・ テレワーク用端末を新たに購入し、在宅勤務の回数を増やすことで感染症対策の推進を図りました。 ・ 浄水場等の運転監視業務委託を拡充し、施設管理における業務の効率化を図りました。
5-2 人材の確保と育成	・ 職員研修の強化 ・ 職員間情報共有方策の検討	・ 国、県又は水道関係団体等が主催する人材の育成を目的とした対面方式の研修が縮小するなか、一方で動画配信研修への切り替えも図られ、人数的に制限のない集合型研修の実施により、幅広い職員の参加が可能となりました。

表10 施策5（持続）における成果指標

指標項目	H28実績 2016	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	目標値	
					2023	2029
経常収支比率（%） 〔（営業収益＋営業外収益）／（営業費用＋営業外費用）〕×100	119.09	111.45	114.62	—	100%超を維持	
料金回収率（%） （供給単価／給水原価）×100	114.40	103.47	107.32	—	100%超を維持	
有収率（%） （年間有収水量／年間配水量）×100	90.98	89.63	89.12	88.47	92.0	93.0
水道技術に関する資格取得度（件／人） （職員が取得している水道技術に関する資格数／全職員数）	0.88	0.75	0.82	1.47	0.88	0.88
研修時間（時間／人） （職員が研修を受けた時間×受講人数）／全職員数	7.4	16.5	7.4	6.7	8.0	8.5

施策6 情報提供の拡充と利用者の利便性の向上（持続）

<本庄市水道事業ビジョンP48>

表11 施策6（持続）における取組事業一覧

取組事業	取組内容	令和3年度取組みの実績
6-1 情報提供の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供方法の検討</li> <li>・ 情報内容の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「広報ほんじょう」による水道防寒対策に関する情報提供のほか、広報紙「水だより」を年2回発行し、水道の水質Q&amp;Aや赤水についての紹介を行いました。</li> <li>・ 水道Q&amp;Aの赤水発生等について、市ホームページで紹介を行いました。</li> </ul>
6-2 利用者の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給配水管施設管理システムの一部情報を市ホームページに公開することによる利用者の利便性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給配水管施設管理システムの一部情報を市ホームページで公開することにより、利用者がインターネットを通じて配水管の布設状況等を確認できるようになりました。</li> </ul>

表12 施策6（持続）における成果指標

指標項目	H28実績	R元実績	R2実績	R3実績	目標値	
	2016	2019	2020	2021	2023	2029
広報による情報の提供度（回／年）	2	6	6	5	4	4
電子申請利用件数（件／年）	190	345	412	681	210	230